

令和 7 年度行政評価《施策評価調書》

テーマ	5	まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち（環境・景観）		
施策	4	都市景観		
所管部	建設部	関係部	産業港湾部・教育部	

Ⅰ 施策の概要と実施状況

施策の 目的	小樽の歴史や文化が息づく歴史的なまちなみや、変化に富んだ海岸線、坂、山並み、四季の移ろいなど、重要な観光資源でもあるこれらの景観資源を本市固有の財産として守り育て、魅力ある都市景観の形成を目指します。
-------------------	--

市民アンケート指標の推移										
小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合							基準値(R1)		目標値(R10)	
							76.0%		基準値より増	
実績	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	76.0%	-	78.3%	-	71.3%	-	79.3%			

基本計画の主な取組	主な実施事業	所管	今後の方向性	指標の推移											
(1) 歴史的建造物の保全及び活用 ★所有者等への技術的・経済的支援による歴史的景観の保全（建設部新幹線・まちづくり推進室） ○歴史的建造物の保全活用に向けた歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の策定及び計画事業の推進や、「伝統的建造物群保存制度」等による国の支援制度の活用を含めた取組の検討（教育部生涯学習課、建設部新幹線・まちづくり推進室）【3-5観光と共通】 ○日本遺産を活用した観光振興の推進（産業港湾部観光振興室）【3-5観光と共通】 ○「小樽市歴史文化基本構想」の理念を踏まえた歴史文化資源の適切な保存と活用（教育部生涯学習課）【6-2文化芸術と共通】				指定歴史的建造物の指定件数						基準値(H30)		目標値(R10)			
	歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金	建新ま	拡大							79件		79件			
					実績	R1 79件	R2 79件	R3 79件	R4 79件	R5 79件	R6 79件	R7	R8	R9	R10
	歴史的風致維持向上計画推進経費（3-5(1)共通）	建新ま	継続												
	日本遺産推進協議会補助金（3-5(3)共通）	産観光	継続												
	小樽市民俗芸能伝承事業	教生学	継続												

[illegible]

[illegible]

II 各部評価（各部による自己評価）

施策の進捗

- ・継続の取組については、おおむね計画どおりに事業化できている。
- ・特に、日本遺産の単独認定や小樽市歴史的風致維持向上計画の認定を受けることができ、それらに基づく各種事業を推進している。
- ・また、これまで継続してきた事業もおおむね予定どおり実施できている。

効果の発現状況

- ・市民アンケート指標の推移は概ね維持・向上しており、これまでの事業の実施による一定の効果が読み取れる。
- ・指定歴史的建造物の指定件数は変わらず、所有者の理解と協力のもと維持保全されており、これまでの取組が一定程度寄与していると推察される。

構成事業の妥当性

- ・各指標の推移は維持・向上しており、事業の構成はおおむね妥当と考えられる。
- ・歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金については、建造物の老朽化の進行や近年の物価高騰など、所有者の維持管理に係る経済的負担がこれまでより増加していることから、支援制度の拡充が必要と考える。

その他（必要に応じて記載）

今後の施策改善の方向性

- ・当施策を実施してきた方向性は妥当と考えられる。
- ・歴まち計画に記載する事業について、国の補助メニューの活用を事業担当部局と調整を図りながら推進していく。



III 二役フィードバック

各部評価に対する意見等